



ツブラジイ林の上に見える岐阜城

ツブラジイ林の上に見える岐阜城

ツブラジイ林は、都市の中心部にこのような自然林が残されているのはきわめてまれなことであり、織田信長が居を構え天下統一の一步を期した歴史的な山ということから代々大切にされ、現在も森林ボランティア団体等の協力により金華山国有林の保全整備が行われています。

山頂までは手軽なロープウェイのほかハイキングコースとして

山頂を目指したいくつもの登山道があり、岐阜市の中心近くにあることからビギナーから健脚者まで多くの市民に親しまれています。

また、昆虫、野鳥の宝庫でもあり、貴重な自然を生かし、森林教室、職場体験学習など自然観察が盛んに行われています。

アクセス

JR岐阜駅から岐阜公園前バス停下車

ロープウェイで三分、徒歩七分で頂上

「岐阜署」四十万都市岐阜市においてひととき目立つ急峻な独立した山塊が、金華山国有林

岐阜のシンボル金華山

ふう けい き こう
風景紀行
 岐阜のシンボル
 きん か ざん
金華山
 岐阜森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

(標高三一九m)です。

山頂には岐阜市のシンボルとなっている岐阜城(昔、稲葉山(因幡山)と呼ばれ)がそびえ、眼下には清流長良川が流れ、晴天時には遠く伊勢湾を眺望することができます。

金華山国有林は、シイ、カシ等照葉樹林の中にヒノキ、マツ等の常緑針葉樹が混成し、年間を通じて緑に覆われ、金華山を代表する樹種「ツブラジイ」が開花する五月頃には、山全体が金色に光輝く時期があり、金華山の名前の由来の一つとも言われています。



長良川からのぞむ金華山